



ISO/TC68国内委員会 総会

2019年6月7日(金)

9:30~12:00

日本銀行 金融研究所
情報技術研究センター

本日のアジェンダ



1.最近のISO/TC68の動き

— TC68パリ会合(2019年5月13-17日開催)報告

(休憩)

2. リエゾン等報告

2-1. ISO/TC307からのリエゾン報告

2-2. ISO/IEC/JTC1/SC17からのリエゾン報告

3. TC68国内委員会活動報告等

4. TC68国内委員会運営について

5. 次回の予定



1. 最近のISO/TC68の動き

— TC68パリ会合(2019年5月13-17日開催)報告

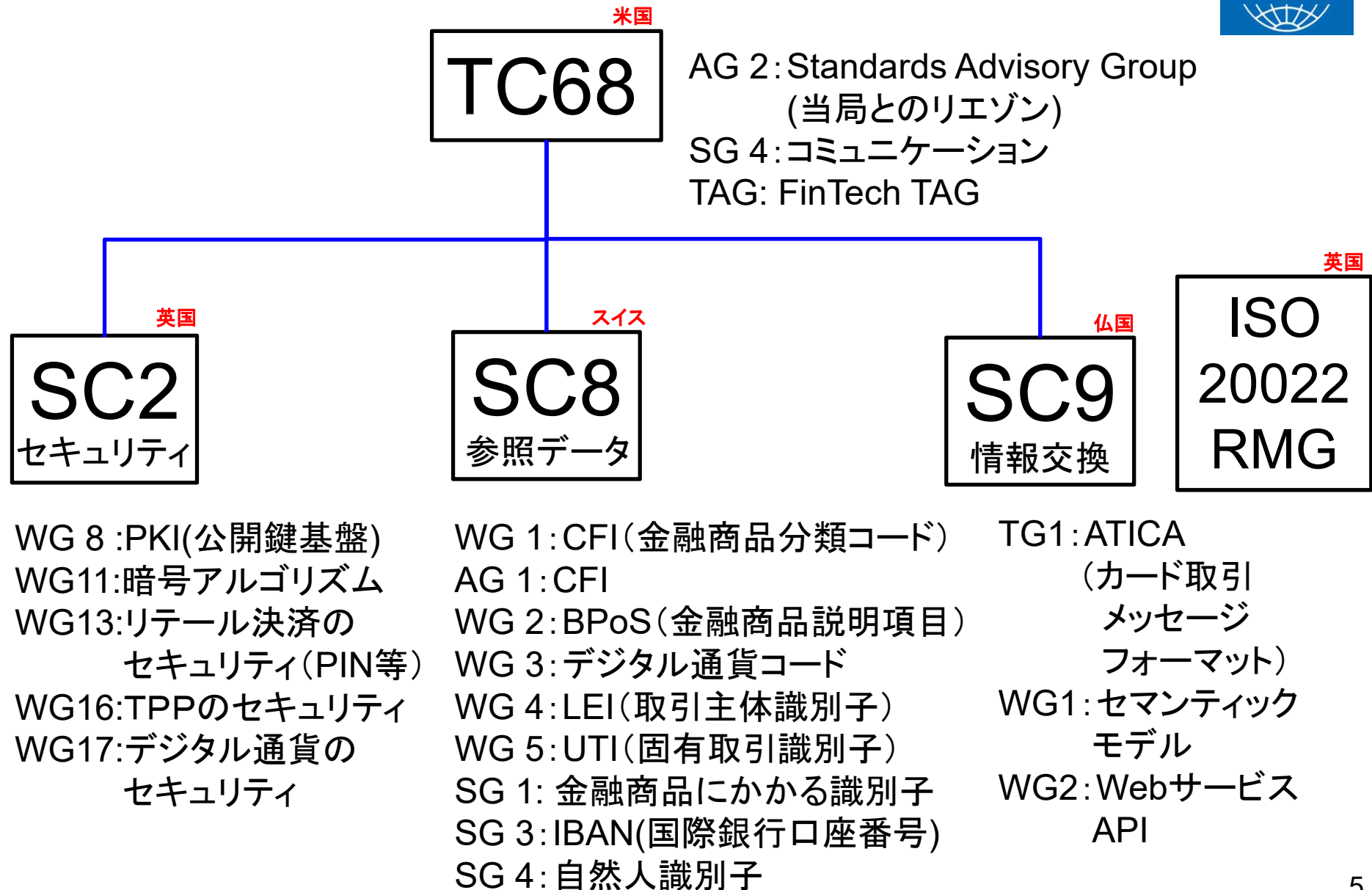
ISO規格の作成段階



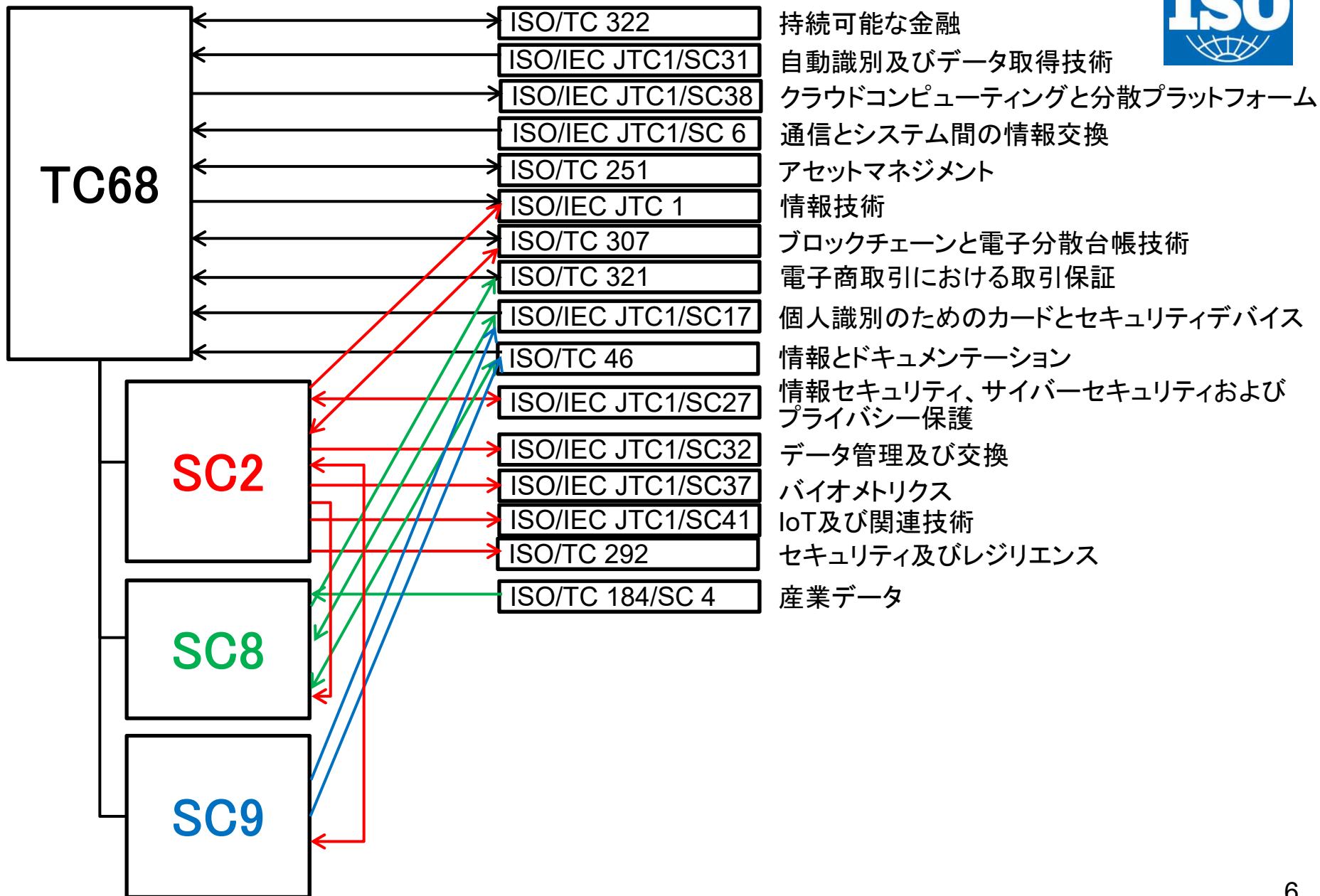
ステージ コード	段 階	文 書	
		フルネーム	略語
(00)	〔 予備段階 Preliminary stage 〕	〔 予備業務項目 Preliminary work item 〕	(PWI)
10	提案段階 Proposal stage	新業務項目提案 New work item proposal	NP (NWIP)
20	作成段階 Preparatory stage	作業原案 Working draft	WD
30	委員会段階 Committee stage	委員会原案 Committee draft	CD
40	照会段階 Enquiry stage	国際規格案 Draft International Standard	DIS
50	承認段階 Approval stage	最終国際規格案 Final draft International Standard	FDIS
60	発行段階 Publication stage	国際規格 International Standard	IS
90	見直し段階 Review stage	国際規格 International Standard	IS

CIB: Committee Internal Balloting (委員会内投票)

TC 68について(2019年4月末時点)



TC 68のリエゾン関係



1-1.



SC 2 Financial Services, Security

WG 8 Public Key Infrastructure Management for Financial Services

WG11 Encryption Algorithms Used in Banking Applications

WG13 Security in Retail Banking

WG16 Security Aspects Related to Third Party Payment Service Providers (TPP's)

WG17 Security Aspects of Digital Currencies

新設計画

(1) Security Aspects of Bar Code Payment

(2) Mobile Financial Services

– customer identification and authentication technologies

1-2.

SC 8 Reference Data for Financial Services



- WG 1 Classification of Financial Instruments
- AG 1 Advisory Group on Classification of Financial Instrument
- WG 2 Specification for Description of Banking Products or Services
- WG 3 Second Tier Registry for Digital Currency Codes
- WG 4 Revision of ISO 17442
- WG 5 Unique transaction identifier
- WG 6 Revision of ISO 6166 (ISIN) <新設>
- (予定) Unique Product Identifier(UPI) <新設>

- SG 1 *Identification of financial instruments* <廃止>
- SG 3 *ISO 13616-1 Analysis of the impact of the country codes* <廃止>
- SG 4 *Natural persons identification* ← WGへ改組の可能性



1-3.

SC 9 Information Exchange for Financial Services

TG 1 Cards Standards

WG 1 ISO 20022 Semantic Models

WG 2 Web Service Based Application Programming Interface
in Financial Services

WG 3 Revision of ISO 8583 and ISO 18245<新設>

SG 1 Review of ISO 20022 SR comments<新設>



1-4.

TC 68 Financial Services

AG 2 Standards Advisory Group

SG 4 Communications

TAG 1 Fintech Technical Advisory Group

AG 3 Best practices <新設>



1-5.

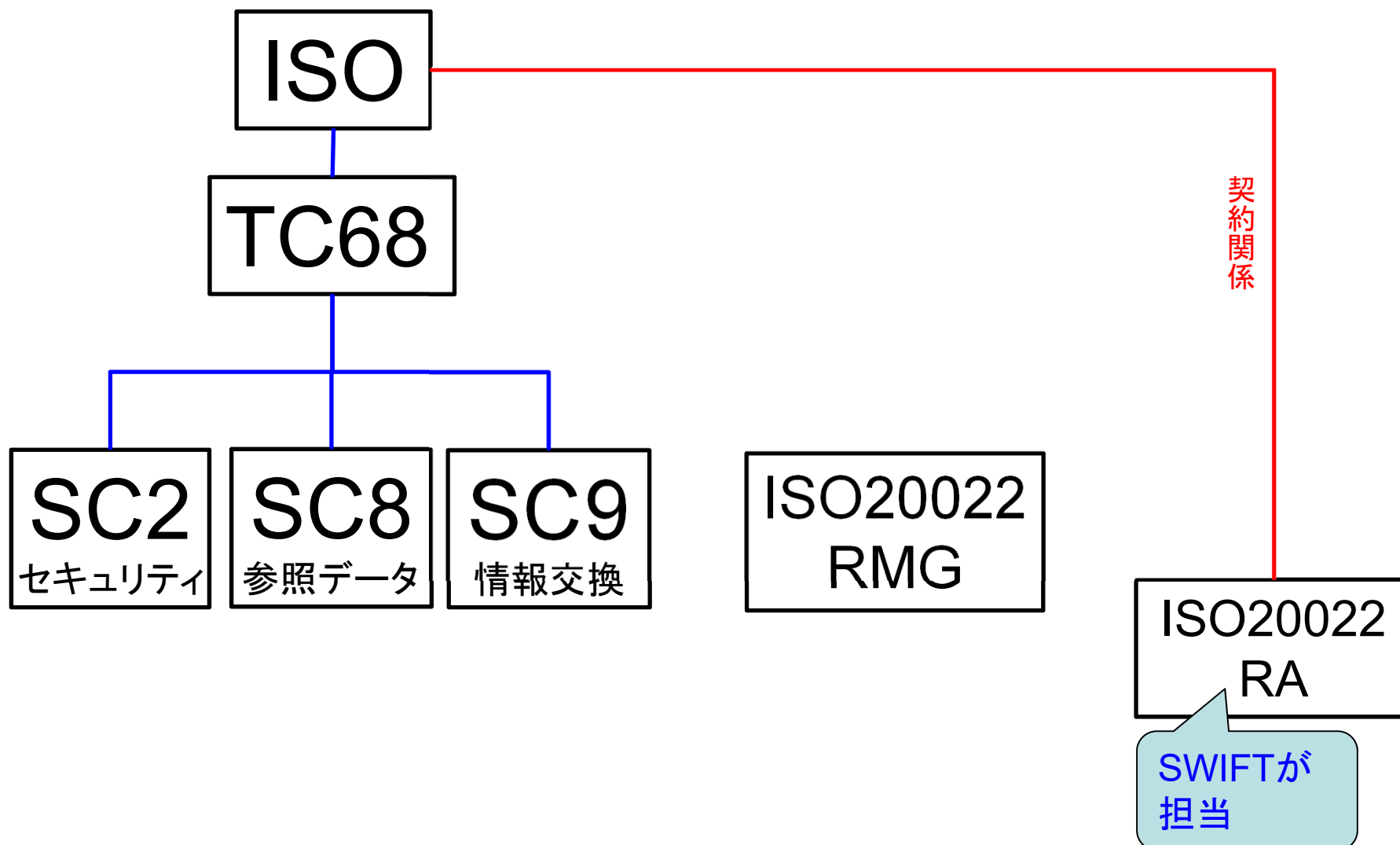
ISO 20022 RMG

- (1) ISO20022RMGをTC68の中でどう位置付けるか
- (2) Business Model Support Team (BMST) <新設>
- (3) Payment SEG
- (4) Security SEG
- (5) Derivative sub-SEG
- (6) FX SEG
- (7) Card and Related Retail Financial Services SEG
- (8) TSG
- (9) Real-Time Payments Group (RTPG)



(1) ISO20022RMGをTC68の中でどう位置付けるか

RMGとRAの関係



ISO 20022 RMGの組織構成



ISO 20022 RMG

各Gのオーバーサイト

ISO 20022 RA

メッセージが登録されるデータベース
(レポジトリ)の 維持管理 (SWIFTが担当)

Business Model Support Team

ビジネスモデルの調査

Payment SEG

資金決済担当

Security SEG

証券決済担当

Derivative sub SEG

デリバティブ担当

FX SEG

外国為替担当

Card SEG

カード・リテール取引担当

ISO 20022の候補
メッセージについて
の妥当性の検証
(Change Request
に対する審査等)を
実施

Cross SEG

各SEGをまたがる調整

TSG

実装やモデル構築に関する技術的
支援を行う組織

3. TC68国内委員会活動報告等



3-1. 定例案件：国際投票案件

2019年2月に実施した国内委員会の議事録は、HP上に公表済み

2019年5月14日

ISO/TC68 国内委員会議事録¹

日 時：2019年2月1日（金）10：00～12：00

場 所：日本銀行本店 新館 9F 大B会議室

出席者：ISO/TC68 国内委員会メンバー、ISO/TC68 国内委員会事務局

○ ISO/TC68 国内委員会（以下、当委員会）の松本勉委員長（横浜国立大学教授）の議事進行によって、報告が行われた。要旨は以下のとおり。

1. 開会挨拶

当委員会事務局より鹿島情報技術研究センター長（日本銀行金融研究所）の開会挨拶に続き、松本委員長が挨拶を行った。

2. 当委員会事務局からの報告

2018年12月1～2日にシンガポールで開催されたISO 20022 RMG 会合での討議内容のほか、最近のISO/TC68の動き（国際投票案件の審議状況やTC68/SC2・SC8・SC9に設置されている各WGでの検討内容等）について報告を行った（報告内容は別添資料1を参照）。当委員会メンバーからは自身の関心が高い分野のWGに関する質問が出され、参加者全体で討議が行われた。

また、2018年6月会合以降の当委員会メンバー異動情報および投票案件状況について、会合席上で確認を行った²。

3. 当委員会の運営

当委員会メンバーに対して関連するWGへのエキスパート参加を呼び掛けた。この背景として、昨年のWGの新設が相次ぐ中、当委員会は十分なエキスパート

¹ 国際標準化機構（ISO）金融サービス分野の専門委員会（TC68）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

² 国際規格の開発には、以下の6段階のプロセスがある[※]。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。

※ 必要に応じて、DIS投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7段階のプロセスとなる。

1

ISO/TC 68 国内委員会の運営

問題意識

- WG数が拡大傾向の中、持続可能なISO/TC 68
国内委員会の運営のあり方

ISO/TC 68 国内委員会の改正

- 国内作業部会の設置
 - ISO/TC 68 国際WG、または、ISO 20022 RMG傘下のグループに対応した国内組織
- 国内委員会の参加形態を委員とオブザーバーに区分

ISO/TC 68 国内委員会の改正

国内作業部会

– ISO/TC 68 国際WG、または、ISO 20022 RMG傘下のグループに対応した国内組織

- 国際WGのエキスパートとして参加（作業部会委員のうちの1名以上）
- 国際WGにかかる日本としての意見の検討
- 当該WGの国際投票案件に対する日本としての回答案の作成

ISO/TC 68 国内委員会の改正

委員

- 委員はいずれかの国内作業部会へ参加
- 委員のうち国際エキスパートは参加WGに対しGD登録を行う(現行どおり)
 - ISOが用意する各種電子ツールの利用・文書の入手等が可能

オブザーバー

- ISO/TC 68 国内委員会総会の傍聴が可能
- 国際審議投票案件のメール審議は送付対象外



5. 次回の予定

■ 次回のTC 68国内委員会日程

- 2020年1月頃を予定(詳細は別途ご連絡)。
—— ISO 20022 RMG定例会合(2019年11月、サンフランシスコ)の後に開催。

■ 次回以降のTC 68総会(国際会議)日程

- 2020年5月 : ノルウェー／オスロ
- 2021年 : オーストラリア(未定)



本日はありがとうございました。

ご意見等がありましたら、下記にご連絡頂ければ幸いです。

ISO/TC68国内委員会事務局（日本銀行金融研究所）

E-mail: iso-tc68@boj.or.jp

03-3277-2150
03-3277-1483 （事務局直通）